

# カペシタビン療法について

## 1. 治療のながれ

### 治療スケジュール

通常「3週間」を一区切り（1コース）として治療します。

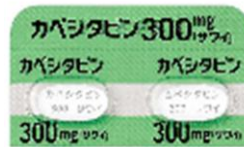
副作用の程度や体調によって治療計画を変更することがあります。

1コース			2コース		
1週	2週	3週	1週	2週	3週
カペシタビン服薬		休薬	カペシタビン服薬		休薬

⇒ 繰り返します

### 使用する薬剤と用法

カペシタビン（一般名：カペシタビン）



長径:13.4mm 短径:7.1mm 厚さ:4.8mm

身長体重から決められた用量を1日2回朝夕食後30分以内に服用します。

- 血液検査の結果や問診による自覚症状の有無を確認し、化学療法実施の決定を医師が行います。
- 副作用の出現状況や体調に応じて、減量や休薬することがあります。

## 2.カペシタビン錠を服用するときの注意点

- ① 服薬期間と休薬期間を必ず守ってください。
- ② 1日2回朝食後と夕食後それぞれ30分以内に、水またはぬるま湯と一緒に服用してください
- ③ 飲み忘れて30分以上経った場合は、飲み忘れた分を服用せず、次から1回分のみを服用してください。**絶対に2回分を一度に飲まないでください。**
- ④ 服薬状況を記録し、飲み間違いのないように心がけてください。  
専用の服薬記録手帳がございます。  
この薬を服用している間は、他の抗腫瘍薬を絶対に服用しないでください。





絶対に一緒に飲んではいけない薬：ティーエスワンカプセル

### 3. 予想される副作用

- 副作用は、治療内容や個人個人で症状の現れ方や程度が異なります。このため、副作用が出現した場合は、早期に対応できるようにすることが重要です。
- 副作用は、治療開始後すぐに起こる症状や、治療を繰り返すことで起こる症状があります。
- 副作用は「自分でわかる症状」と「血液検査などでわかる症状」があります。

副作用の特徴を理解し、体調に異常を感じた場合はすぐにお知らせください。





#### ▼ 「自分でわかる症状」

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
<b>手足症候群</b> ・ヒリヒリ・チクチク ・皮膚が水疱や赤く腫れる ・足裏のひび割れ	保湿をするように心がけてください。 日光をなるべく避けるようにしてください。 手足への刺激（温めすぎ、締め付けのきつい衣服、長時間同じ体勢でいるなど）は避けてください。 症状に応じて飲み薬や塗り薬などを使用します。 
<b>吐き気・嘔吐・食欲不振</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>投与後すぐに起こる場合。</li> <li>投与翌日から1週間ぐらいの間に起こる場合。</li> <li>投与前から起こる場合。</li> <li>食事のにおいなどで起こる場合。</li> </ul> これ以外でも変わったことがあった場合は報告してください。 吐き気止めや症状や原因に応じてその他の薬剤を使用します。
<b>下痢</b> 	普段から便通の状態を把握するように心がけてください。 腹痛や、下痢でトイレの回数が多い場合は報告してください。 症状が出現したときは水分補給をこまめに行ってください。 下痢止めや水分補給のための点滴を使用します。
<b>便秘</b>	便を軟らかくする薬や腸の動きをよくする薬を使用します。 また症状に応じて、坐薬や浣腸を使用することがあります。
<b>口内炎・歯肉炎</b> 	口の中を清潔に保つように心がけてください。 刺激の強いものや極端に熱いものはなるべく避けてください。 痛みで歯磨きができない場合でも、うがいはしてください。 症状が出現時は、軟膏やうがい薬を使用します。
<b>過敏症</b> 	<b>発疹、発赤、咳、発熱、悪寒、呼吸苦、浮腫など</b> 薬剤や食物などのアレルギーは必ず申し出てください。 少しでもおかしいと感じたときはすぐに申し出てください。 症状出現時は、抗アレルギー剤、ステロイド剤を使用します。 まれに投与後に症状が出現することがあります。
<b>疲労感・倦怠感・発熱</b>	無理をせず、十分な休息とるようにしてください。 肝機能が影響して症状が出現する事があります。 発熱の症状に応じて解熱剤を使います。 
<b>間質性肺炎</b>	空咳、息切れ、発熱など 症状を感じたら受診し、適切な治療を受けてください。

▼「検査でわかる症状」



定期的に検査を行い、問題ないことを確認していきます。

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
<p>白血球・好中球減少</p> 	<p>感染症にかかりやすくなります。感染予防を心がけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅時に手洗い、うがいを行う。</li> <li>・歯みがきは口の中を傷つけないように気をつける。</li> <li>・風邪など感染症にかかっている人に近付かない。</li> </ul> <p>風邪などの症状がある場合は早めに受診するようにしてください。 減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。</p> 
<p>赤血球減少</p> 	<p>めまい、倦怠感、息切れなど貧血時に見られる症状が出現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。</li> <li>・減少の程度では、輸血することがあります。</li> </ul>
<p>血小板減少</p> 	<p>出血しやすくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我や内出血（打ち身などによる）に注意してください</li> <li>・覚えのない内出血や血便が見られたときは報告してください</li> <li>・減少の程度に応じて輸血することがあります</li> </ul>
<p>腎機能 肝機能 電解質 などの項目も問題ないか確認していきます</p>	

ここに書いてある以外の副作用が現れるかもしれません。普段と何か違うな、おかしいなと感じたときは医師、薬剤師、看護師に報告してください。

治療を受けているときは、様々な不安や疑問を感じると思います。  
そのようなときは主治医、薬剤師または看護師にお気軽に相談してください。



鹿児島市医師会病院 化学療法委員会  
099-254-1125